

## 導入事例

## コミュニケーション活性化のカギは「ディスプレイ」にあり！



## アルテック株式会社様

ハイブリッド会議が増え、より効率的なコミュニケーションのための環境をどう整えるかが多くの企業にとって課題となっているのではないのでしょうか。そうした中、米 Crestron Electronics (クレストロン エレクトロニクス) と 2022 年 11 月に国内総代理店契約を締結したアルテック株式会社が、体験型ショールーム Crestron エクスペリエンスセンター」に法人向けブラビア「BZ40L」シリーズを導入。導入された理由や背景、狙いを伺いました。

## ■導入の目的

1. 入室即会議を始められる 10sec ミーティングを実現したい
2. どの席でも見やすく映り込みの少ない画面表示で会議したい
3. 自社取り扱い製品との接続性・互換性を確保したい

## ■法人向けブラビアで実現！

1. 10sec ミーティングを超える 5sec ミーティング (?) を実現
2. 明るく見やすい表示で情報伝達がよりスムーズに
3. 鮮明な表示のおかげで会議への集中力、相互理解が向上した

## Crestron エクスペリエンスセンターの各部屋に法人向けブラビアを設置

— アルテック株式会社の概要とクレストロン エレクトロニクス (以下、クレストロン) 製品の特長を教えてください。

**堀川氏**：当社は、1976 年に設立され、現在は東証スタンダード市場に所属しております。印刷・包装、製薬、食品・飲料、自動車、電子機器などの国内製造業をサポートするために欧米を中心に最先端の産業用機械と設備を輸入する専門商社です。市場環境のダイナミックな変化の下で多様化するお客さまのニーズを満たすため、プラスチック関連機器、3D プリンター、自律走行型搬送ロボットやボトル to ボトルのリサイクルシステムなど取り扱い製品のラインアップを拡充しています。

**小林氏**：2022 年 11 月に、クレストロンのハイブリッド会議ソリューションの販売を開始しました。クレストロン製品の特長は「高度な統合能力と柔軟性」です。会議室のさまざまな機器やシステムを一元的に制御、統合できるため、会議室の AV 機器や照明などの製品を一括で操作できます。

— Crestron エクスペリエンスセンターの概要と、目指した空間イメージを教えてください。

**小林氏**：Crestron エクスペリエンスセンターは、オープンスペースラウンジ、10～12 人が利用できるカンファレンスルーム (大) 2 部屋、8 人を収容するミーティングルーム (中) 2 部屋、6 人用小サイズミーティングルーム (小) 1 部屋、4 人用ハドルーム 1 部屋、講義などの利用を見込むトレーニングルーム 1 部屋で構成しています。経営層などの会議に使用することが多いカンファレンスルーム (記事冒頭写真) の 1 部屋は、ディスプレイを 2 台組み合わせています。入室するとセンサーが反応してディスプレイの電源が入り、ブラインドが自動で閉まるといった機能を備えています。



(写真左から) アルテック株式会社 総務部長：堀川彬永氏

エンジニアリング事業部 物流システムエンジニアリング・サポート部長：加瀬旭氏

取締役 執行役員 第 2 産業機械事業部長 兼 AS 営業部長：山根清秋氏

第 2 産業機械事業部 AS 営業部 営業副部長：小林健太郎氏

## 法人向けブラビア「BZ40L」シリーズ導入の決め手になった4つのポイント

—— 法人向けブラビア「BZ40L」シリーズを選んだ理由を教えてください。

**小林氏**：快適なハイブリッド会議環境をつくる上で、参加者や共有資料を映し出すディスプレイは重要な役割を担います。「BZ40L」シリーズを選んだ決め手は「立ち上がりの速さ」「映り込みの少なさ」「画質」「接続性と互換性」の4つです。一般的にハイブリッド会議を始める場合は会議の数分前には入室し、マイクやカメラのセッティングが必要だと思うのですが、ディスプレイがなかなか立ち上がらなかったり配線に手間取ったりして、会議の開始が遅れることも多いはずですが。

クレストロンの会議ソリューションは全ての機器をシームレスに連携させられるため、ボタン1つで全ての機器が起動し、すぐにWeb会議を始められます。私たちは「10sec ミーティング」と呼んでいて、入室から10秒以内に会議を始めたいことを目指しています。この10sec ミーティングを実現するために立ち上がりの速いディスプレイを探していました。いくつかの製品を検討しましたが、「BZ40L」シリーズの立ち上がりの速さには驚きました。ボタンを押すとすぐに起動するため、「5秒」で会議を始められるようになりました。今では10sec ミーティングを「5sec ミーティング」に変えようかと話しているほどです（笑）。

さらに映り込みに悩まされることもなくなりました。照明や外光が画面に反射して映り込んでしまい、座る場所によっては見えにくい場合があると思いますが、ソニー独自の「ディープブラック・ノングレアコーティング」が採用されている「BZ40L」シリーズは映り込みが大きく低減しているので、そうしたストレスから解放されました。また、他社製品との「接続性・互換性」の高さも決め手の一つでした。「BZ40L」シリーズはネットワーク上のさまざまな機器を一括管理・制御できるクレストロン社の「Crestron Connected™」に対応しておりクレストロン製品からスムーズに操作できるので使い勝手が良く、会議の質を向上させることにも貢献してくれます。

—— Crestron エクスペリエンスセンターは開設から半年ほどたちました。法人向けブラビアの使用感や満足度についてはいかがでしょうか。

**山根氏**：クレストロン製品を説明する際、「BZ40L」シリーズの機能にも魅力を感じられるお客さまが多いですね。ハイブリッド会議に適した環境を構築する上でディスプレイが果たす役割はとても重要だと再認識しました。

**加瀬氏**：普段の会議で従業員も使用していますが、とても好評です。

**堀川氏**：採用活動でも良い効果があります。当社は、来社いただいた入社志望者と遠隔地にいる役員をつないでリモート面接を実施することがあります。PCの画面で面接をする場合、お互いの顔が鮮明さに欠ける場合がありますが、「BZ40L」シリーズで役員を映し出して面接をすることで臨場感が出て、やりとりが円滑になります。入社志望者の当社に対する印象も良くなるので、人事担当者からも高い評価を得ています。

ミーティングルームやレセプションルームでは、スタンドを使ってディスプレイを配置している



講義やセミナーなどでの使用を見込むトレーニングルーム。ここでもディスプレイを2台組み合わせている

## ディスプレイの質が伴って初めて良い会議が生まれる

—— ハイブリッド会議で、従業員同士のコミュニケーションを活性化させるために必要なこと、ディスプレイが果たす役割は何だと思えますか。

**山根氏**：「BZ40L」シリーズを導入したことで、情報を視覚化して効果的に共有できるディスプレイの重要性を実感しました。高品質なディスプレイで共有される情報は視覚的に理解を高め、参加者同士の意見交換やアイデアの共有を促進させます。ディスプレイの質が伴って初めて良い会議、コミュニケーションが生まれると思っています。ディスプレイをしっかり選定することで、物理的な距離が生じるハイブリッド会議でも参加者が協力しやすくなり、集中力や相互理解が向上すると考えています。

**堀川氏**：従業員の満足度や業務効率化の観点で、ハイブリッド会議はこの先もなくなることはないと考えます。最新技術を組み込んだディスプレイはコミュニケーションを活性化させ、ハイブリッド会議のスムーズな進行をサポートしてくれるはずです。

法人向けブラビアについて 詳しくは、当社 Web ([sony.jp/bravia-biz/](https://sony.jp/bravia-biz/)) へ

ご購入に関する相談は  
法人のお客様向け購入相談デスク

☎ 0120-30-1260

- 携帯電話・一部の IP 電話などご利用になれない場合がございます。
- 受付時間 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日 休み)

ソニーマーケティング株式会社

商品情報や仕様のお問い合わせは  
ブラビア法人様向け相談窓口

☎ 0120-67-6699

- 携帯電話・一部の IP 電話などご利用になれない場合。050-3754-9774
- 受付時間 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日 休み)

お問い合わせ

2024年1月現在